Ichikawa General Hospital News
issou
2015.11
Vol.4
東京歯科大学市川総合病院ニュース
発行：東京歯科大学市川総合病院広報委員会

DATA：泌尿器科
- 日本泌尿器科専門医教育認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会認定施設
- 平均外来患者数75名(日)、平均入院患者数22名(日)
- 主な対象疾患：膀胱、前立腺：膀胱がん、膀胱結石症、前立腺肥大症、前立腺がんなど　副腎：クッシング病、原発性アルドステロン症など
腎、尿管：腎不全、腎細胞がん、腎盂・尿管がんなど、その他：透析（内シャント手術および透析の導入）、精巣がんなど

腎不全治療センター、開設。

泌尿器科の集学的医療を展開

当科の一般泌尿器科では、前立腺をはじめ腎臓・尿管、膀胱の悪性腫瘍から尿路結石、前立腺肥大症などの幅広い診療を行っています。腎移植、透析医療を担う腎不全治療センターや、男性不妊や勃起障害、精子の凍結保存も行うリプロダクションセンターといった部門とも連携しながら、泌尿器科に関わる様々な診療を行っています。泌尿器科指導医３名、泌尿器科専門医２名、うち４名が泌尿器科腹腔鏡手術技術認定を有し、前立腺や膀胱、腎臓、副腎などに対して低侵襲治療である腹腔鏡手術を積極的に導入。前立腺全摘（輸血確率0.5%未満、術中合併症発生確率0.5%未満）、膀胱全摘の認定施設にもなっています。また、早期がんに対しては臍内2～5cmの皮切のみで術後創が全く見えなくなる単孔式腹腔鏡手術や、手術精度を高める3D腹腔鏡も導入。前立腺肥大症に対しては、経尿道的前立腺核出術（TUEB）を開発した医師による低侵襲治療を行っています。前立腺肥大症は薬物療法では症状を抑えたとしても完治することが難しく、結果的に手術適応になる患者様は高齢の方が多くなります。TUEBは出血がほとんどなく輸血せずとも手術ができるため、安全・確実な治療であるといえます。この手技は国内に留まらず、世界に広がっています。

腎不全の第1選択肢、腎移植

腎不全治療において、透析治療を受ける患者様は多数いらっしゃいます。しかし、腎不全の場合、血液透析と腎移植では生命予後が大きく異なります。透析の10年生存率は現在でも40%程度のところ、腎移植の10年生存率は全国平均でも80%以上（当科スタッフの経験では98%）にのぼり、血液透析と大きく差が開いています。透析の場合、体調不良や全身瘙痒感、心臓や脳血管などに合併症が出現することもありますが、移植ではこれらの合併症を回避することができます。また、それぞれの治療開始後2年を経過すると、透析と移植の医療費は逆転します。移植は手術を行うため初年度の医療費が高くなることもありますが、翌年以降は大きな費用は発生しません。一方、透析治療では合併症の対応も常に必要になるため、結果として移植医療のほうが経済的メリットが大きくなることもあるのです。

腎移植では、患者様は普通の生活が送れます。また月に1度の受診は必要ですが、透析治療のような時間的拘束もありません。このような腎移植のメリットは、あまり多くの方に知られていないようです。私たち医療者が移植について正しい知識を持ち、一般の皆様にインフォームしていければ、と思います。ただし我が国では生体腎移植が多く行われているのが現状で、腎提供者が極めて少ないという側面もあります。それらが改善できるよう体制も含め検討しています。

issou Ichikawa General Hospital News
vol.4

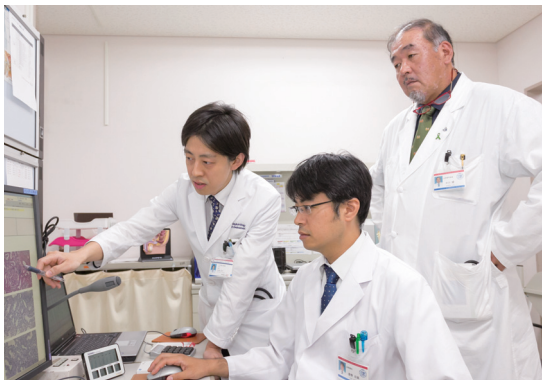
患者様のメリットは、チャレンジの源に。

泌尿器科

診療科横断型の新しい試み

腎不全への対応としては、先述の腎移植、血液透析、そして腹膜透析があります。以前まで当院では腎移植は行っておりませんでしたが、患者様のニーズと状態にあわせて最善の治療法を選択、提供できるように「腎不全治療センター」を開設しました。2014年7月から2015年8月末日までに合計9件の腎移植を行い、全例良好な生着状態を維持しています。また、腎移植外来では、手術を行う泌尿器科医、全身的な管理を行う腎臓内科医が総合的に連携し、常に2名の医師が1名の患者様を診療する体制を確立しました。両科で診療することによってそれぞれの長所を見いだす新しい診療の試みです。

患者様のメリットを一番に考える、これこそが新しいチャレンジの原動力です。



患者様紹介について

患者様に最善、最適な治療を提供するために努めてまいります。泌尿器科での異常を感じたらすぐにご紹介ください。泌尿器関連の情報を得ていただくために講演会やカンファレンスなどにご参加いただければ幸いです。

information

腎不全治療センター開設記念

市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ新たな取り組み“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- 日程：平成28年2月18日（木）
- 時間：19：30～
- 場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター 3階会議室
- なぜ腎移植なのか、知ってください（中川 健）

内科 助教 坂巻裕介　泌尿器科 教授 中川 健　泌尿器科 講師 香野日髙

みなさまのご参加、お待ちしております。

医療機関の先生方へ　市川総合病院　診療情報提供書　検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「地域連携・医療福祉室」を設置しています。
ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

地域連携・医療福祉室 TEL 047-322-0151（内線2214）　FAX 047-324-8539（直通）
開室時間　月曜日～金曜日：午前9時～午後5時　土曜日：午前9時～午後1時（第2土曜日は休診日）